

DIGICERT® TRUSTCORE SDK

IoT セキュリティを強化、実装を簡素化

セキュアなIoT開発を強化

TrustCoreは、モノのインターネット(IoT)やコネクテッドデバイスのエコシステムにおける複雑なセキュリティニーズに対応するため設計された強力なソフトウェア開発キット(SDK)です。TrustCoreを使用することで、開発者は安全でコンプライアンスに準拠した効率的なIoTアプリケーションを容易に構築することができます。

主な機能

暗号の俊敏性:

- 高度な暗号機能を簡単に統合。
- IoTデバイスのリソース最適化。
- 業界標準の暗号プロトコルをサポート。

コンプライアンス対応

- FIPS 140-2/3認証済ライブラリ。
- 規制標準へのコンプライアンスの簡素化。
- コンプライアンスの複雑さを緩衝する抽象化レイヤー

セキュア・エレメント統合

- 信頼されたハードウェアのデバイスセキュリティを強化。
- 秘密鍵ライフサイクル管理の簡素化。
- OpenSSLからの容易な移行。

安全なプロトコル

- TLS, SSL, SSH, MQTTサポート
- IPSecによる安全なデータ通信
- EAPによるユーザーとデバイス認証の強化

専門知識とサポート

- 知識豊富な顧客サポート
- 豊富なドキュメント
- 定期的なアップデートとセキュリティパッチ
- FIPS認証のための検証サービス



実績が豊富なTrustCore

TrustCoreは、ヘルスケアや産業分野のコネクテッドデバイスからスマートシティや自動車ソリューションまで、幅広いIoTアプリケーションのセキュリティ実装において、主要なIoT開発者や組織から信頼を得ています。

堅牢なセキュリティ: TrustCoreはIoTデータのセキュリティを確保し、進化し続ける脅威から保護します。

迅速な市場投入: IoTアプリケーション開発を加速し、市場投入までの時間を短縮し、安全なソリューションの迅速な実装を可能にします。

コンプライアンスの信頼性: TrustCoreのFIPS認証と規制基準への準拠は、IoTの実装が重要な業界と政府の規制に準拠していることを保証し、安心を提供します。

開発工数の削減: 開発者は、事前に構築された暗号ライブラリや統合ツールを活用できるため、暗号に関する深い専門知識の必要性が減り、開発工数を最小限に抑えることができます。

相互運用性: 業界標準プロトコルのサポートにより、IoTデバイスと既存のセキュリティインフラ間のシームレスな通信を実現します。